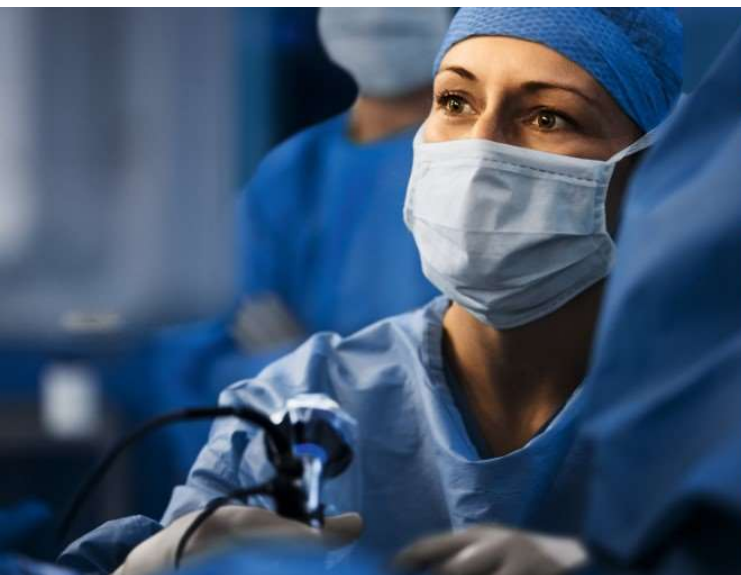


OLYMPUS

True to Life



オリンパス株式会社

会社案内

2024年4月発行

The background image shows a man and a woman standing on a grassy mountain ridge, looking out over a vast mountain range under a blue sky with scattered white clouds. The scene is captured from a slightly elevated perspective, emphasizing the scale of the landscape.

OLYMPUS

True to Life

「True to Life」は、私たちの存在意義のために尽力し続けるオリンパスの姿勢を表しているグローバルブランドメッセージです。

オリンパスは、人生を豊かに送るための機会が全ての人に与えられるべきと考えています。誰もがその一度きりの機会を最大限に生かせるように、医療技術によるソリューションを日々進歩させることで、全ての人々の好奇心や向上心、夢、志を満たし、心の豊かさを実現します。

A woman with long dark hair, wearing a blue patterned top, is pointing at a whiteboard covered in colorful sticky notes. A man with a shaved head, wearing a blue striped shirt, stands behind her, looking at the board. The scene is set in a modern office with large windows in the background.

01 グローバル・メドテックカンパニーとして

02 オリンパスの事業

03 新たな経営戦略

04 持続可能な社会の実現のために

05 健やかな組織文化醸成に向けて

06 会社情報

07 付録



01

グローバル・メドテックカンパニーとして

A photograph of a woman with long brown hair hugging a young child from behind. The woman is smiling and looking towards the right. The child is wearing a dark, quilted jacket. The entire image has a blue color overlay. A large yellow quote mark is on the left side of the text.

“

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの
実現のために私たちは今後も邁進します。

”

経営理念

OUR PURPOSE 私たちの存在意義

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling
世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現

OUR CORE VALUES

 <p>PATIENT FOCUS 患者さん第一</p> <p>私たちは、 いかなる時も患者さんを 最優先に考えて行動します</p>	 <p>INTEGRITY 誠実</p> <p>私たちは、 正しい行動を取ります</p>	 <p>INNOVATION イノベーション</p> <p>私たちは、 物事をより良くするために、 新しい方法を追求します</p>	 <p>IMPACT 実行実現</p> <p>私たちは、 結果に対する責任を持ち、 やり遂げます</p>	 <p>EMPATHY 共感</p> <p>私たちは、 お互いを思いやり、 協力し合います</p>
---	---	--	---	--

患者さんへの貢献

1,900,000

大腸がんの罹患者数／年*

Source: GLOBOCAN 2020

51,000,000

大腸内視鏡件数／年*

*グローバル：米国、カナダ、ポーランド、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、
スペイン、英国、日本、中国、韓国、オーストラリア、インド /
データは地域により2019年、2020年あるいは2022年時点

患者さんへの貢献



100

適応可能な疾患数

オリンパスは100*の疾患の治療に役立つ様々な医療機器を提供しています

* 2023年3月現在

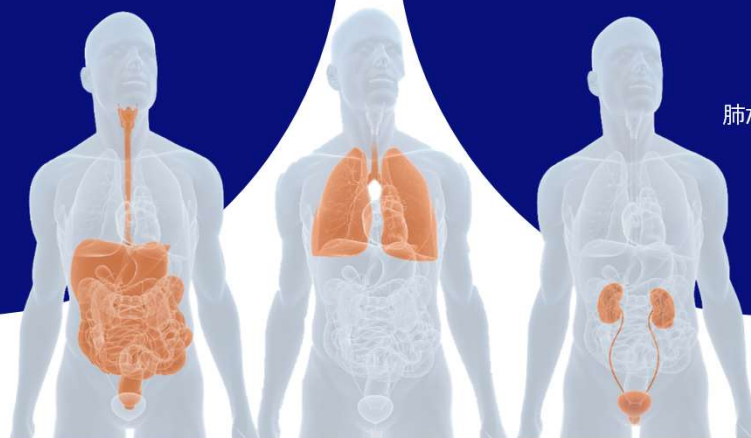


TOP 3

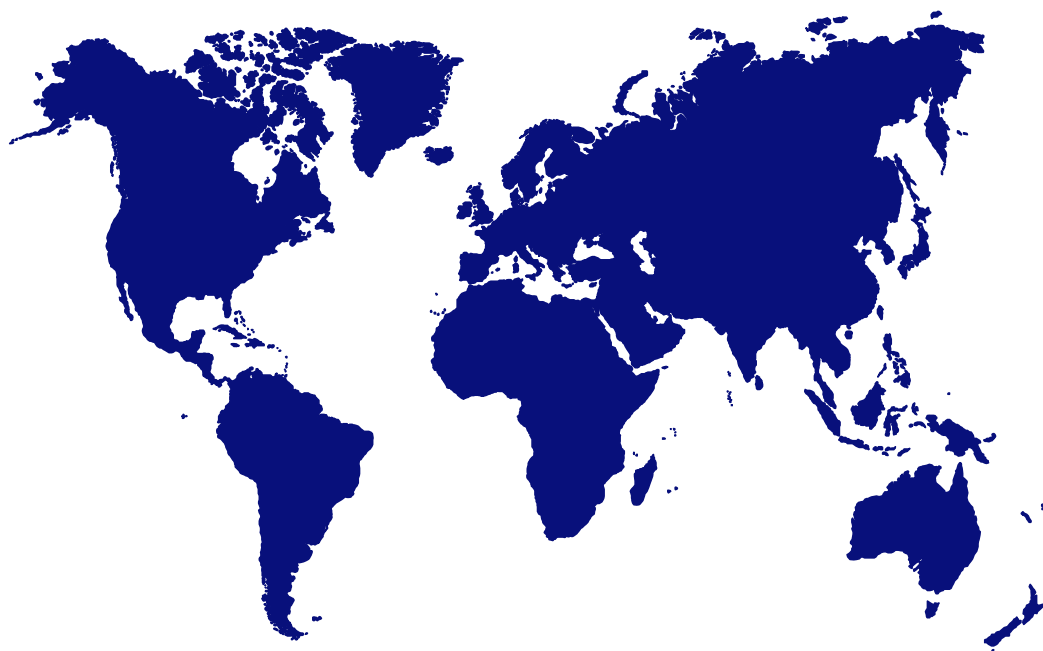
罹患数の多い3つのがん

オリンパスは、罹患数の多い5つ*のがんのうち、肺がん、胃がん、大腸がんへの治療機器を提供するとともに、その他のがんの治療機器の開発も行っています。

*2023年3月現在
乳がんと前立腺がんを除く、罹患数の上位3つ
Source: GLOBOCAN 2020



世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために



32,805

全従業員数*

* 2023年3月現在 非継続事業4,124人を含む

38

拠点のある国や地域*

* 2023年3月現在

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために



TOP 100

Global Innovator

オリンパスは、2012年から2020年にかけて、および2022年、2023年に、世界で最も革新的な企業トップ100に選ばれています

<https://clarivate.com/top-100-innovators/>



291

Awards

オリンパスは、1966年以来、革新的なデザインに対して国内外から表彰されています*

*2023年3月現在



14,000

特許の保有件数*

*2023年3月現在



CO2 “0”

2030年までに CO2排出量*を実質ゼロに

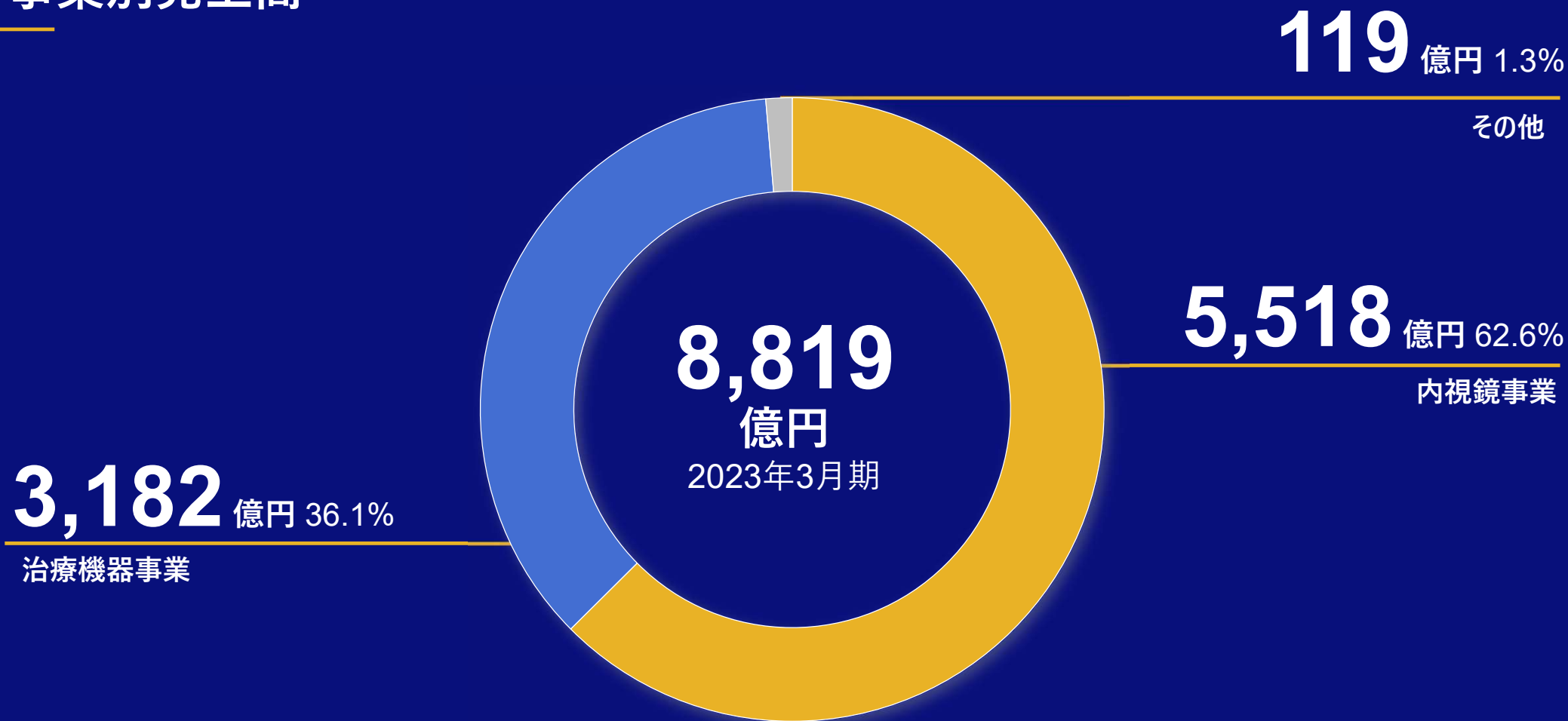
*自社事業所からのCO2排出量



02

オリンパスの事業

事業別売上高

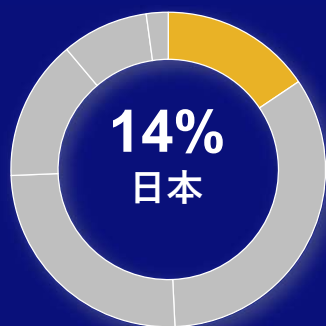


地域別売上高

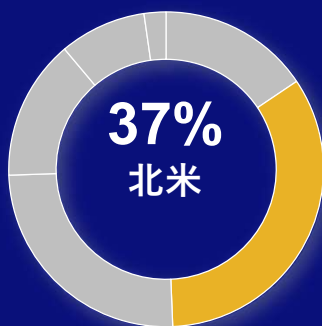


8,819 億円

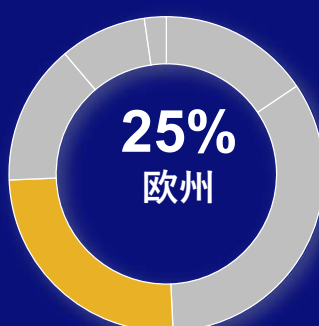
2023年3月期



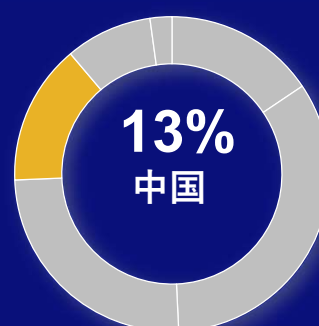
1,225億円



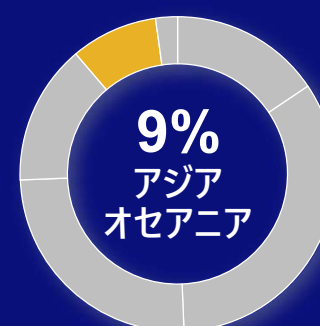
3,222億円



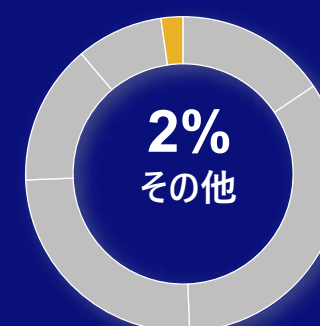
2,222億円



1,171億円

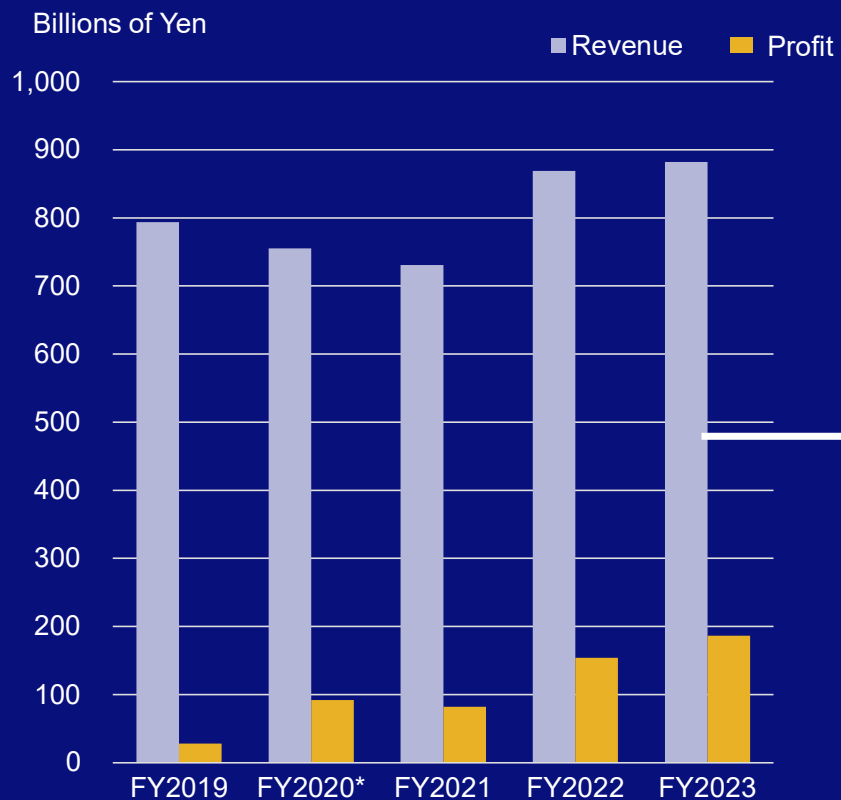


778億円



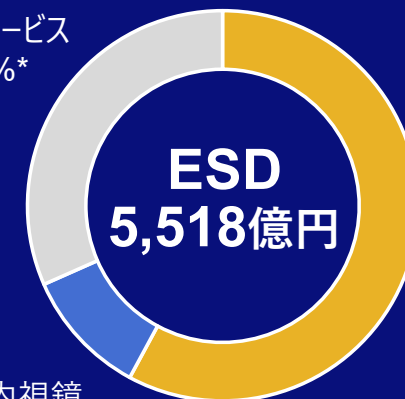
202億円

売上高・営業利益の推移



内視鏡事業
63%

医療サービス
30%*



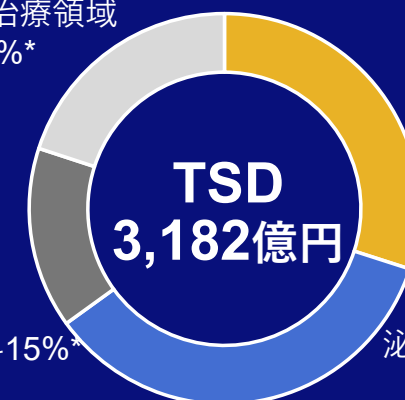
消化器内視鏡
55%*

外科内視鏡
10%*



治療機器事業
36%

その他の治療領域
20%*



消化器科処置具
30%*

呼吸器科15%*

泌尿器科
35%*

*2021年1月1日に、日本産業パートナーズ株式会社が設立した特別目的会社に対して、映像事業を譲渡しました。
これに伴い、2021年3月期第2四半期連結会計期間より、映像事業を非継続事業に分類し、過去に開示した2020年当期の数値も組み替えて表示しています。
*Due to rounding, the total may not add up to 100%

内視鏡事業 : Endoscopic Solutions

消化器内視鏡システム



消化器内視鏡
ビデオスコープシステム

外科内視鏡システム



4K surgical
endoscopy system



4K内視鏡システム

リプロセス



内視鏡自動洗浄
消毒装置

カスタマーソリューション (医療デジタルソリューション等)



カスタマーソリューション
バーチャルコラボレーション

修理サービス



リペアセンター

治療機器事業：Therapeutic Solutions

内視鏡用処置具



止血用
クリップ



高周波
ナイフ



採石
バスケット

泌尿器科



尿管鏡



Soltive™
SuperPulsed
Laser ファイバー



Soltive™
SuperPulsed
Laser System



膀胱鏡



バイポーラレゼクト
電極



iTind™1



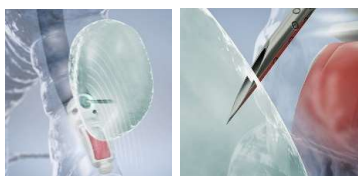
PLASMA+™ システム ジェネ
レーターおよび消耗品

1: iTindによる治療は、永久的インプラントが不要で、性機能や排尿機能が維持でき、術後のカテーテル留置の必要性も低減。外来治療にも対応

呼吸器科



Bronchoscopy (traditional
and single-use) and
endoscopic devices



EBUS² 気管支鏡および
EBUS-TBNA³ 針



気管支内バルブシステム

2: EBUS: Endobronchial ultrasound: 気管支内超音波断層法

3: EBUS-TBNA: Endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspirations: 超音波気管支鏡ガイド下針生検

エネルギーデバイス



エネルギー
デバイス

耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉
ビデオスコープ

婦人科



硬性鏡
(光学視管)

注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております



03

新たな経営戦略

基本的な指針

患者さんの安全と
持続可能性



- 1 米食品医薬品局（FDA）に対するコミットメントを遂行し、各国規制当局との信頼関係を構築
- 2 健やかな組織文化とESGを推進

成長のための
イノベーション



- 3 オリンパスブランドの強化、顧客体験価値向上
- 4 戦略的なイノベーション・買収を通じた事業の成長

生産性の向上



- 5 患者さんの安全と製品の品質を重視したパフォーマンスの高い組織を構築
- 6 効率的で無駄のない経営

“
世界の人々の健康と安心、
心の豊かさの実現
”

持続的成長実現のために

当社が価値を最も発揮できる疾患領域に注力し、医療水準を向上させるための新しい方法に投資することで、将来的な成長を可能にする

これまでの3年間（FY2021~FY2023）



事業拡大と
グローバル展開



戦略的M&A



ケア・パスウェイの
強化



インテリジェント
内視鏡医療
エコシステム

4つの価値の源泉



- 当社の注力領域である消化器科、泌尿器科、呼吸器科でのがんや慢性疾患の増加により、疾患に対する内視鏡手技の需要が拡大
- EVIS X1導入地域の拡大により売上成長を牽引
- 中国市場の持続的な成長機会



- 早期発見、特性評価・診断・ステージ分類、治療といった主要な領域においてケア・パスウェイを強化し、変化し続ける患者さんケアへの期待に応える



- 注力領域または高成長が見込める関連分野におけるタックインM&A*に注力

*当社のポートフォリオに合致し、既存のビジネスを補完・増強するためのM&A



- AIを活用した、インテリジェント内視鏡システムの新時代を創造

投資とイノベーションを可能にする取り組み



QA/RA – グローバルな変革活動

- グローバルな品質システムの導入に向けてQA/RA機能の改革を実行
- グローバルな品質、コンプライアンス機能の統合による、一貫した施策展開
- コンプライアンス上の問題を解決し、是正活動を完遂



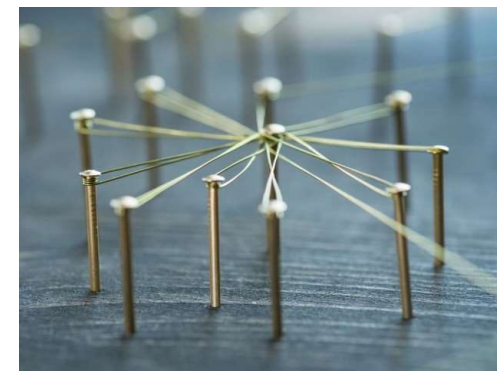
R&D – イノベーションを加速する投資

- アンメットニーズに対応したイノベーション手法を導入
- 将来のイノベーションの原動力となる適切な投資
- 積極的な戦略パートナーシップ推進
- 市場導入までのスピードを加速



製造 & SCM – 原価改善の取り組み

- 効率とコストの改善を通じて、目的に見合った組織と業務プロセスを目指す
- 拠点とリソースの合理化、迅速な効率改善、調達・サプライチェーンのベストプラクティス実践、デジタル化などの取り組み



グローバルTOM* – 業務改善による効率を実現

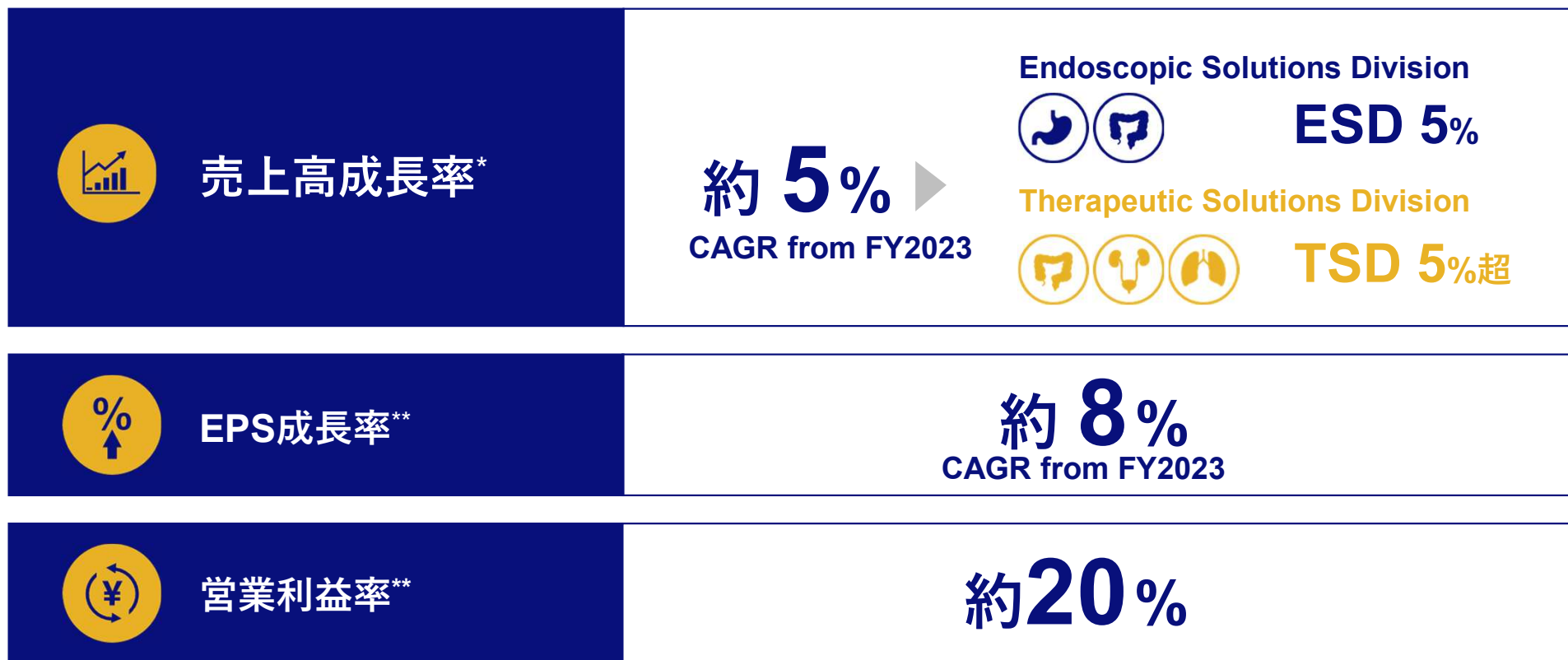
- グローバルなガバナンス・業務体制のさらなる改善により、イノベーション推進の実現に投資できる、ハイパフォーマンスなグローバル・メディテックカンパニーへと進化
- 部門横断型の効果的な意思決定システムを構築し、リソースを効率的に配分することで、重要プロジェクトへの投資と実行体制を実現

*TOM = target operating model

業界最高クラスの基準に則って、患者さんの安全を確保

FY24-26 財務ガイダンス

安定的な価値創造と競争力のある成長を実現



*為替前提を固定 **特殊要因調整後 - その他の収益および費用等を除く - 為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

A photograph of a woman and two young girls sitting on the ground in a field, planting a small green sapling. The woman is smiling and looking down at the girls. The girls are focused on the task. The scene is bathed in a soft, blue-tinted light, suggesting dusk or dawn. The background shows some foliage and a blurred landscape.

04

持続可能な社会の実現のために

ESGにおける課題*



Environment 環境

- 気候変動への対応
- 脱炭素・循環型社会への貢献
- 温室効果ガスの削減
- 水・廃棄物の削減



Social 社会

- 人権
- 多様性、平等性、インクルージョン
- 労働環境の安全性
- 医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上



Governance ガバナンス

- リスクマネジメント・危機管理
- 経営体制の強化
- 取締役会における多様性
- 情報開示の透明性

*一例のみ / すべてを網羅したものではありません

6つのESG重点領域と最優先マテリアリティ項目



医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上

医療アクセス及び医療公平性改善への貢献



コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力

製品、サービス、ソリューションの品質と安全性の確保



責任あるサプライチェーンの推進

サプライチェーンのリスク軽減と耐性の確保



健やかな組織文化

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの推進



社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献

プロダクト・スチュワードシップを通じた循環型社会の実現、脱炭素への取り組み（スコープ1、2、3）



コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスと情報開示の透明性の確保

医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上



+20%

途上国への
トレーニング開催回数

対象の途上国・地域における
CRC*関連のトレーニング開催数



+20%

医療従事者への
トレーニング開催回数

CRC*関連のオンライン/ハイブリッド型
トレーニング開催数



* CRC: Colorectal cancer

コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力



製品、サービス、ソリューションの 品質と安全性の確保

適時適切なESG情報開示

SASB基準に沿った開示



責任あるサプライチェーンの推進



サプライチェーンの リスク軽減と耐性の確保

サプライチェーンにおける
リスク評価・モニタリングの実施



健やかな組織文化



30%

女性の活躍促進

グローバルなマネジメントポジションに
おける女性の割合

FY28までに実現



100%

男性社員の育児休暇取得率

日本における
男性社員の育児休暇取得率

FY26までに実現



社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献



ネットゼロ

2040年までにスコープ1、2、3*の
温室効果ガス排出量を実質ゼロに



カーボンニュートラル

2030年までに自社事業所からのCO2排
出量（スコープ1・2*）を実質ゼロに



Scope 1：敷地内における燃料の使用による直接的な温室効果ガス排出
Scope 2：敷地内で利用する電気・熱の使用により発生する間接的な温室効果ガス排出
Scope 3：その他の間接的な温室効果ガス排出（Scope1、Scope2を除く）



コーポレートガバナンスと情報開示の透明性の確保

エンタープライズリスクマネジメント
一貫性・継続性を確保したグローバルでの実施





05

健やかな組織文化醸成に向けて

企業文化における進化

健やかな組織文化

私たちの存在意義を実現するため、
従業員一人ひとりがベストな状態でパフォーマンスを発揮できる文化

Purpose-driven

1

**影響力を与える
リーダーシップ**
リーダーが明確な
戦略を示し、オリン
パスの未来を導く

2

コラボレーション
部門や地域を超え
た連携、オープンで
建設的な議論の
実現

3

外部・顧客志向
顧客や市場の
トレンドを押さえ、
新たな発想を大事
に将来のビジネス
ニーズに応える

People-centric

4

権限委譲
誰もが決断し、
責任を持つことが
認められ、自身の
キャリアパスを描い
ていく

5

**チャレンジ
できる風土**
多様な考え方を
大事に、新しい
チャレンジができる
風土を醸成

6

**ワーク・ライフ・
バランス**
魅力的な職場環
境の整備とともに、
従業員のウェルビー
イングも大切に

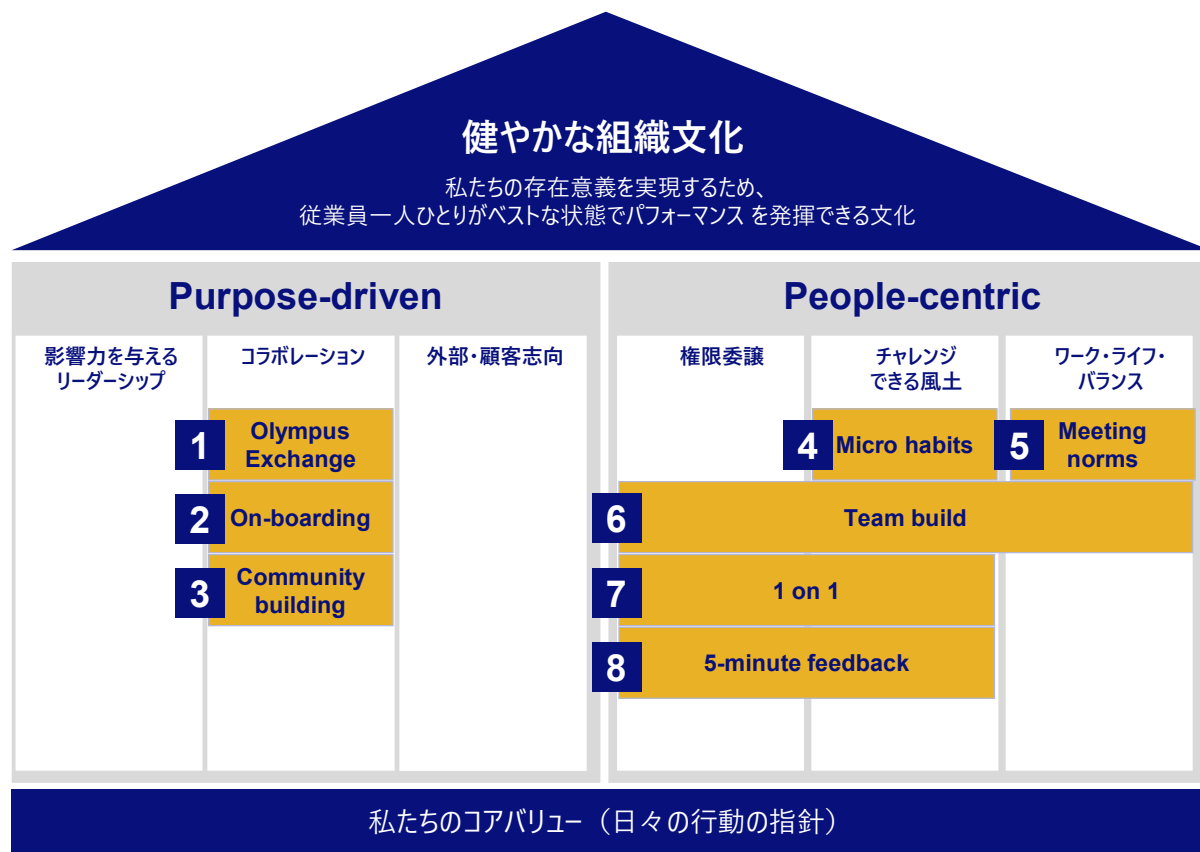
私たちのコアバリュー（日々の行動の指針）

健やかな組織文化の実現のために必要な
6つの要素と私たちのコアバリュー

健やかな組織文化

当社が目指す健やかな組織文化とは、「私たちの存在意義を実現するため、従業員一人ひとりがベストな状態でパフォーマンスを発揮できる文化」と定義しており、この文化の実現のためには6つの要素が必要だと考えています。現在、6つの要素のさらなる向上のため、グローバルで取り組みを進めています。

企業文化における進化



健やかな組織文化の実現のために必要な
6つの要素と私たちのコアバリュー

■ 優先する要素

ツール

詳細

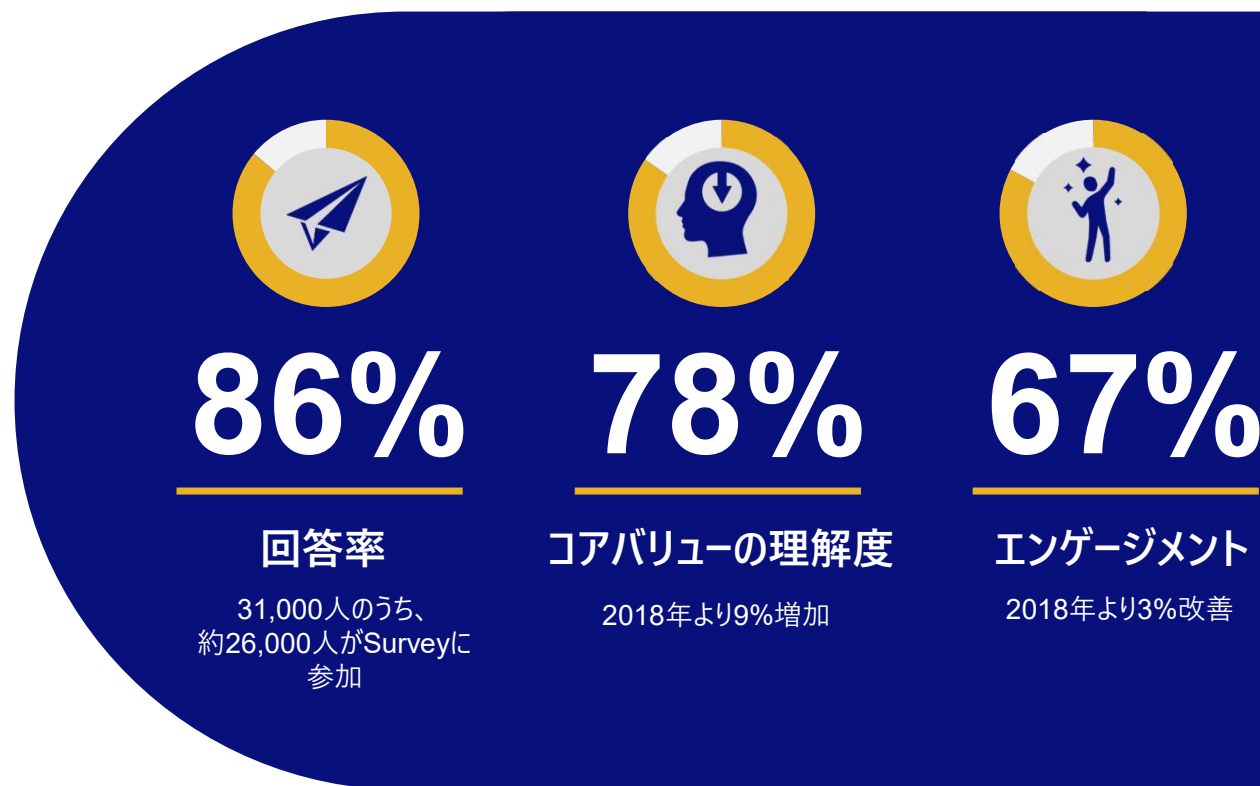
- | | | |
|----------|---------------------------|--|
| 1 | Olympus exchange | 部門を越えた交流：自社の組織について理解を深める、自社の事業について詳しく知る |
| 2 | On-boarding | 新たに加わったメンバーの協力を促す、およびグローバルプロジェクトやグローバルな環境で働く経験を与える |
| 3 | Community building | 部門を越えた協力やネットワーク構築で、コミュニティ開発を促す |
| 4 | Micro habits | マイクロハビッツを習得し、ベストプラクティスを共有することで、失敗から学ぶことを知る |
| 5 | Meeting norms | 会議を効率よく行い、不要な会議を減らす |
| 6 | Team build | チームメンバー同士が互いを理解し、チーム内で安心できる環境づくりを目指す |
| 7 | 1 on 1 | 上司・部下の定期的な話し合いによって、メンバーの成長を促し、パフォーマンスの向上を図る |
| 8 | 5-minute feedback | 短時間でタイムリー、且つカジュアルな双方向のフィードバックを行う |

注: これらは施策の一部であり、他にも実施中の施策がございます

Core Value Survey

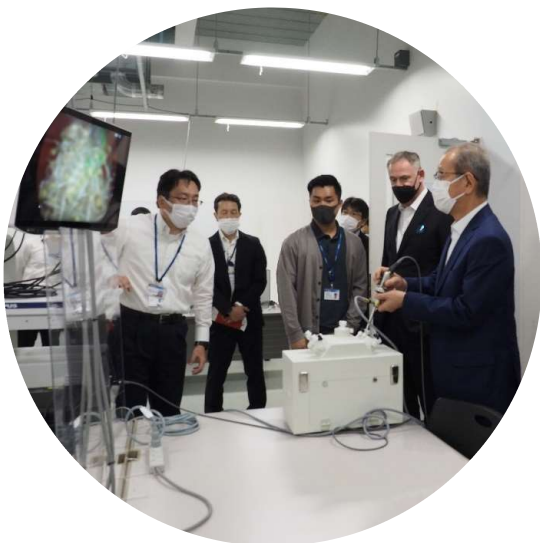
コアバリューサーベイは、健やかな組織文化醸成を支え、従業員エンゲージメントを示す重要なツールです。

コアバリューサーベイに加えて、毎年、簡易的な調査も実施しています。前年のコアバリューサーベイから導き出された対策の結果と進捗状況を把握し、従業員の定着をサポートするために、エンゲージメントが順調に改善されているかを確認します。



As of Nov. 2022

健やかな組織文化を確立するために



Gemba Visit

執行役が製造・開発・営業・オフィスなどの「現場」に出向き、日々現場で働く皆さんの業務や思い、課題意識を理解することでお互いの距離を縮めることを目的としたグローバル施策

6,000

実行力強化研修

組織変革の推進のために、すべての従業員の実行力強化は重要であるという考えの下、リーダーシップコンピテンシーやビジネス実行力の向上を目指した研修も世界中の全従業員を対象に実施

2020年の開始以来、
実行力強化研修に参加した従業員数*

4,300

英語のトレーニング

グローバル・メドテックカンパニーとして円滑な国際コミュニケーションも不可欠であると考えの下、日本では、英語力の向上や異文化理解の支援を行うグローバルコミュニケーション力強化プログラムを実施

2020年の開始以来、グローバルコミュニケーション力強化プログラムに参加した従業員数*

As of Nov. 2022

06

会社情報



会社概要

商号	オリンパス株式会社 (Olympus Corporation)
上場市場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード：7733)
設立	1919年10月12日
取締役 代表執行役社長兼CEO	シュテファン カウフマン
本社	〒192-8507 東京都八王子市石川町2951
資本金	1,246億円 (2023年3月現在)
連結売上高	8,819億円 (2023年3月期)
連結従業員数	32,805人 (2023年3月現在 非継続事業4,124人含む)



執行役一覧



竹内 康雄

取締役 代表執行役 会長兼 ESG
オフィサー (ESG担当役員)



シュテファン・カウフマン

取締役 代表執行役 社長兼 CEO
(最高経営責任者)



フランク・ドレバロウスキー

執行役 エンドスコープソリューションズ
ディビジョンヘッド
(最高内視鏡事業責任者)



倉本 聖治

執行役 セラピューティックソリューションズ
ディビジョンヘッド
(最高治療機器事業責任者)



泉 竜也

執行役 チーフファイナンシャルオフィサー
(最高財務責任者)



ガブリエラ・ケイナー

執行役 チーフストラテジーオフィサー
(最高経営戦略統括責任者)



小林 哲男

執行役 チーフマニュファクチャリングアンドサブ
ライオフィサー (最高製造供給責任者)



アンドレ・ローガン

執行役 チーフテクノロジーオフィサー
(最高技術責任者)



ボリス・シュコルニック

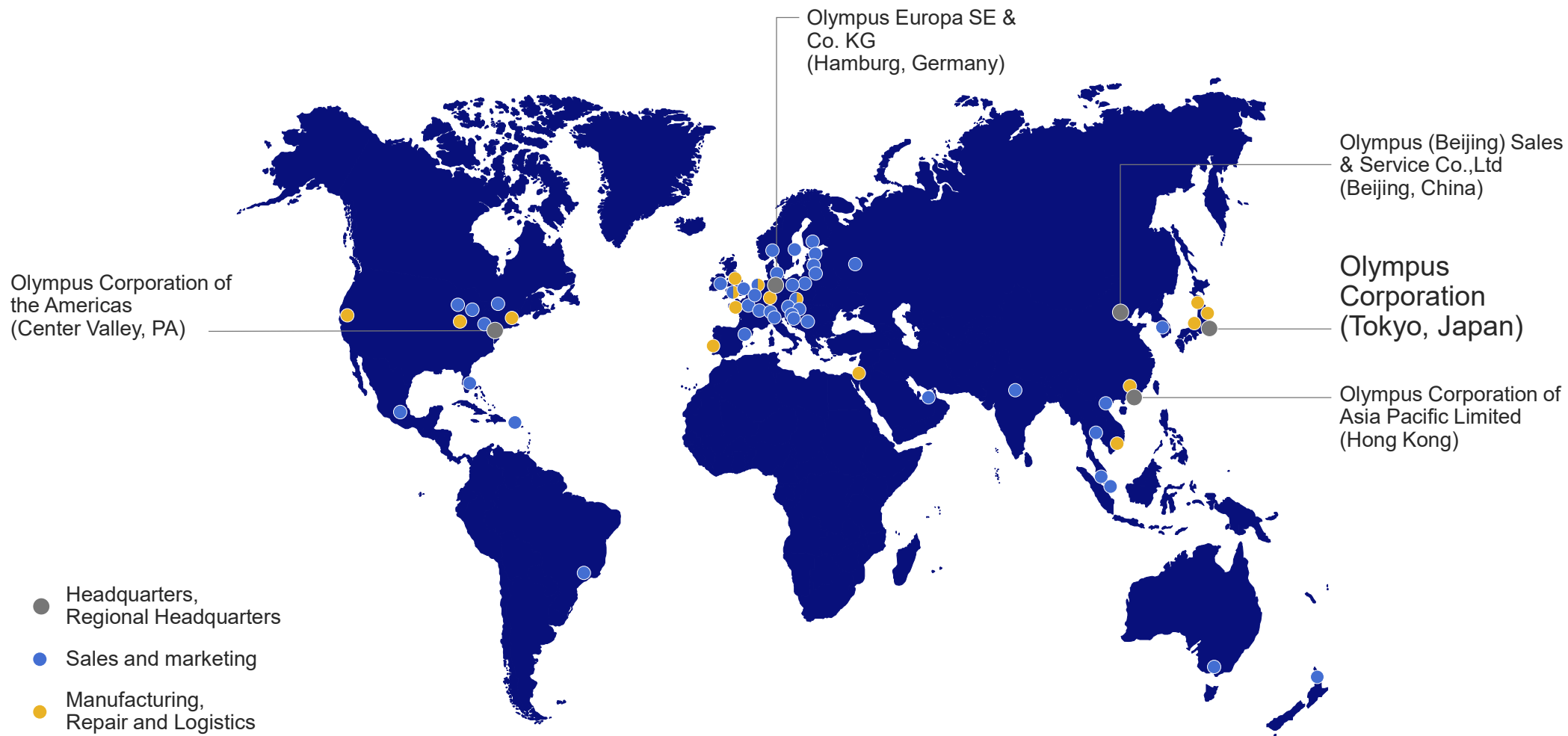
執行役 チーフクオリティオフィサー
(最高品質法規制責任者)



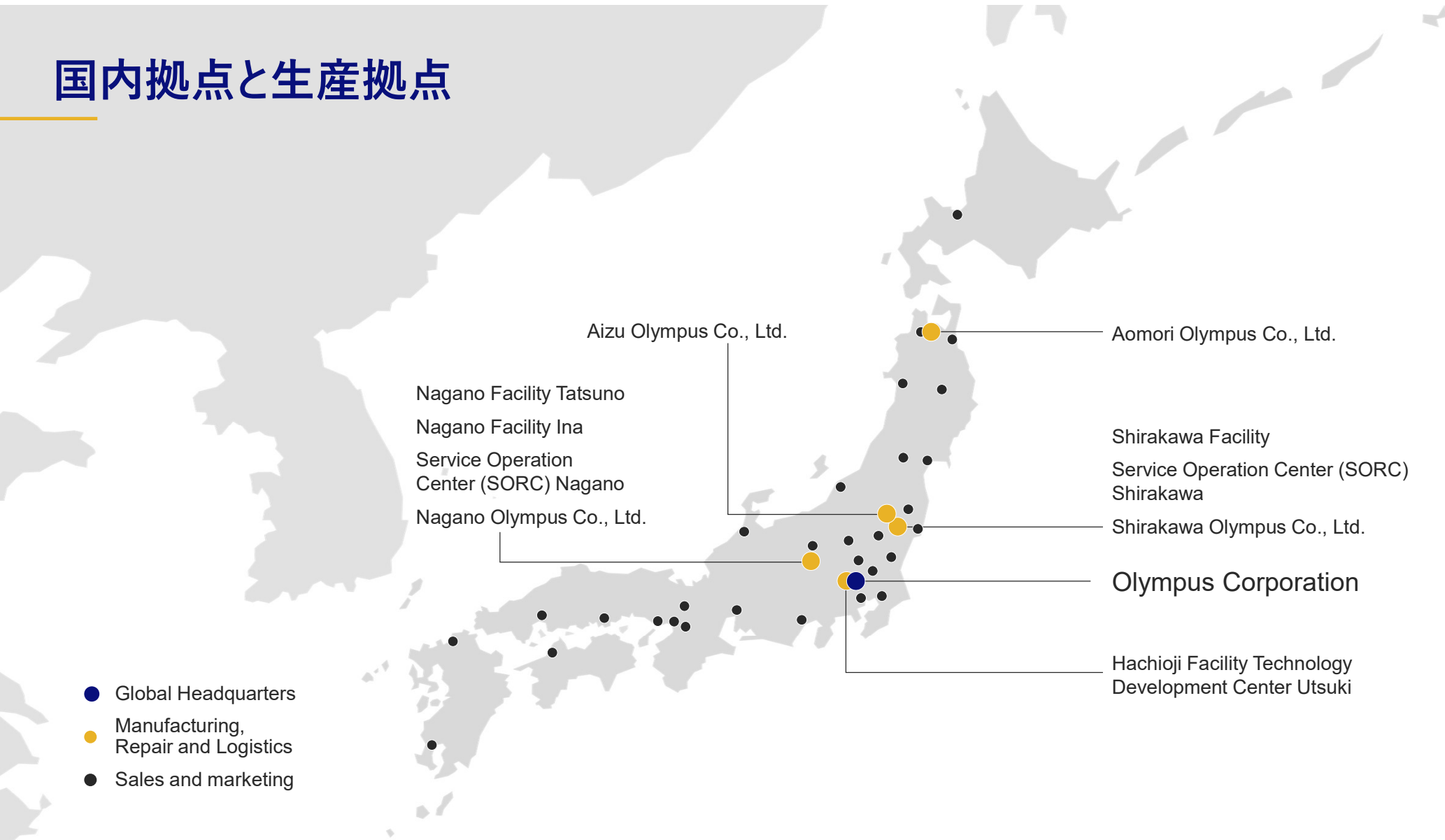
大月 重人

執行役 チーフヒューマンリソースズオフィサー
(最高人事総務責任者)

Olympus Locations



国内拠点と生産拠点





07

付録

オリンパスの歴史



顕微鏡旭号
を発売

1920



液浸系顕微鏡
昭和号 (GK) を発売

1927



オリンパス光学工業に
社名を改称

1949



ガストロカメラGT-Iを
発売

1952



1919

創業者・山下長
(やました・たけし) に
より顕微鏡の国産化を
目指し、創立。
当時の社名は
高千穂製作所
(10月12日)



1921

商標**オリンパス**を
登録



1936

写真レンズ「ズイコー」を開発し、
当社初のカメラ**セミオリンパス I**を
発売

1950

世界初の実用的な
ガストロカメラ
(胃カメラ) を開発



1959

革新的な
ハーフサイズカメラ
オリンパスペンを
発売

オリンパスの歴史

1964

OLYMPUS OPTICAL Co
(EUROPA) GMBH
Geschäftsleitung

1964

ファイバー付ガストロカメラ
GTFを発売

1966

接眼部にカメラを装着する
ファイバー付ガストロカメラ
GFSを発売

1968

顕微鏡、測定器、医療機器
分野の米国現地法人
オリンパス・コーポレーション・
オブ・アメリカ設立

1969

世界初のマイクロカセット
テープレコーダー
ズイコーパールコーダーを
発表

1972

小型軽量の
システム一眼レフカメラ
OM-1を発売
(発売当初の名称はM-1)

1975

ドイツ・ウィンター&イベ社との
協業にもとづき外科用硬性
内視鏡に本格的に進出

1977

カメラ分野の米国現地法人
オリンパス・カメラ・
コーポレーション
を設立

1979

米国・サンノゼに内視鏡
修理センターを開設

オリンパスの歴史



顕微鏡
BH2を発売
1980

消毒液に浸漬可能な
完全防水の内視鏡
OESを開発
1983

米国現地法人2社を
統合し、オリンパス・
コーポレーションを
設立
1983

英国・
キーマッド社を
子会社化
1987

内視鏡ビデオスコープ
システム
EVIS100(1989年)/
200(1990年)発売
1990

1979

ウィンター&イベ社を
買収し、オリンパス・
ウィンター&イベ社を
設立



1980

超音波内視鏡
システムを開発



1983

世界初のAF機能搭載
万能顕微鏡AH2を発売



1985

内視鏡ビデオ
情報システム発売



1987

中国・北京に
駐在事務所を設立



1991

最初のμ[mju:]
カメラを発売
このシリーズは
オリンパスカメラの
なかでもベストセラー
となる



オリンパスの歴史

無限遠光学系
(UIS光学系)を
採用したシステム
生物顕微鏡BXを
発売

1993



1995

欧州に内視鏡修理子会社
オリンパス・エンドリペア・
ヨーロッパを設立



オリンパス初の
一般消費者向け
デジタルカメラ
C-MEDIA C-800L / C-400L
を発売

1996



1996

走査型レーザー
生物顕微鏡
FLUOVIEWを
発売

半導体検査用顕微鏡
MX50を販売

1996



工業用ビデオスコープ
IPLEXを発売

2001

2000

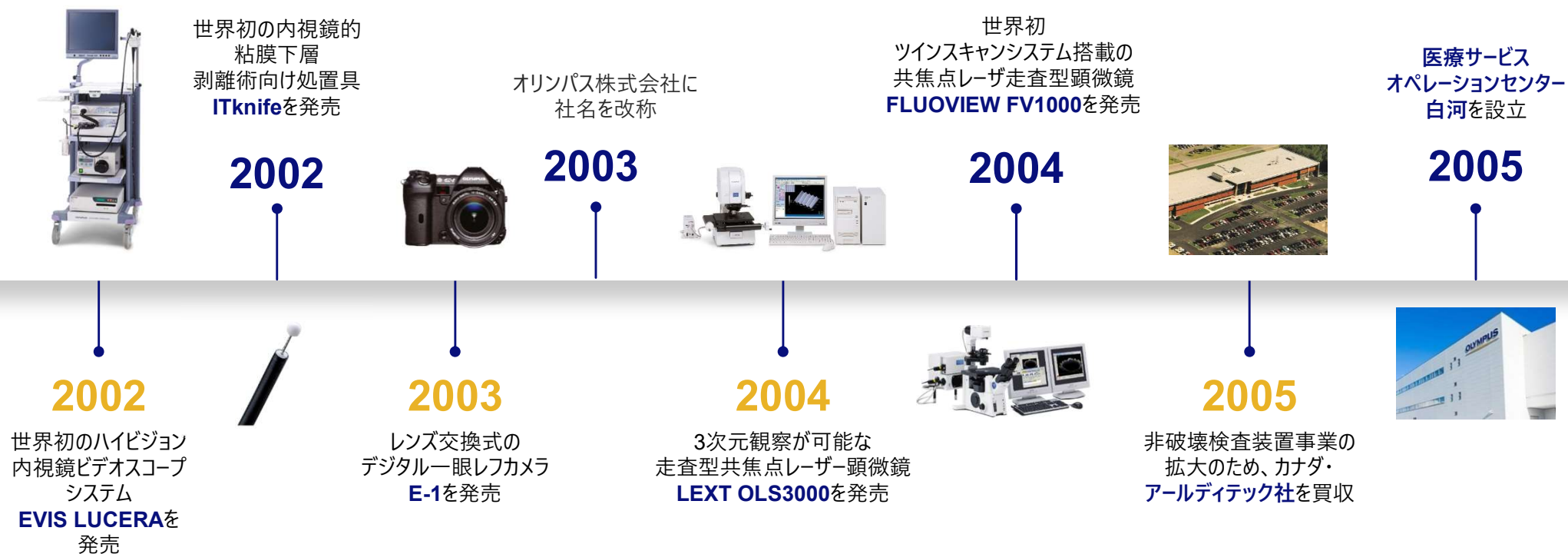
内視鏡
ビデオスコープシステム
EVIS EXERAを発売



2002

内視鏡手術/検
査用統合
ビデオシステム
VISERAを発売

オリンパスの歴史



オリンパスの歴史

中国に
オリンパス内視鏡修理
技術センター 上海を
設立

2006



外科事業の拡大
に向け、
米国・ジャイラス社
を買収

2008



超音波探傷器
EPOCH1000シリーズを
販売

2009



システム生物用
顕微鏡BX3を
発売

2010



非破壊検査
装置事業の
拡大のため、
イノバックシステムズ社を
買収

2010



2006

狭帯域光観察が可能な
内視鏡ビデオスコープシステム
EVIS EXERA IIおよび
EVIS LUCERA SPECTRUM
を発売



2008

ベトナムに
医療機器と
デジタルカメラの
製造工場
オリンパスベトナムを設立



2009

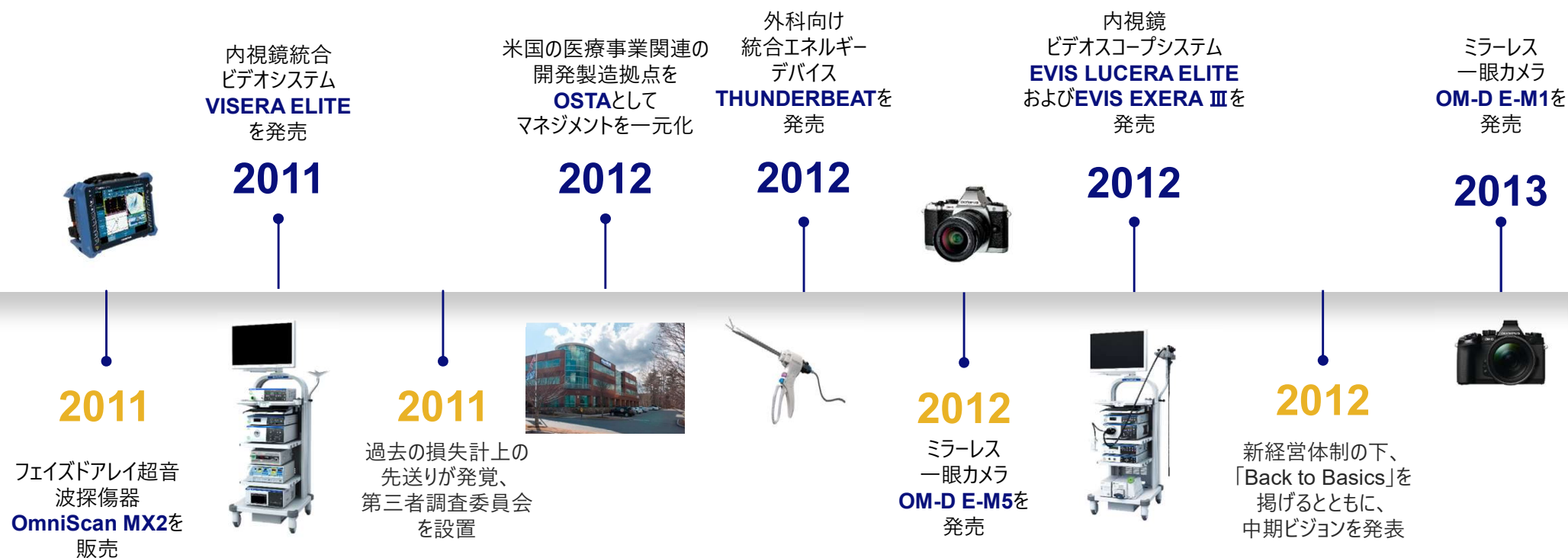
ミラーレス
一眼カメラ
オリンパス・ペン E-P1を
発売



2010

欧州の医療事業関
連の開発製造拠点を
OSTEとして
マネジメントを一元化

オリンパスの歴史



オリンパスの歴史



OLYMPUS

A thick yellow horizontal line that tapers at both ends, positioned directly beneath the word "OLYMPUS".

Olympus is a registered trademark of Olympus Corporation, Olympus America Inc., and/or their affiliates.